

平成 28 年度口頭発表等一覧

[企画部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2016 年大会 平成 28 年 5 月 22 日～26 日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
 - ・2014年長野県北部の地震に伴う地表変動に関するSAR干渉画像の解釈：宇根寛・中埜貴元（地理地殻活動研究センター）・小林知勝（地理地殻活動研究センター）
 - ・災害時に求められる地理空間情報とは？：宇根寛・栗栖悠貴
 - ・平常的地震活動を理解するための震度データベースを用いた「中期予測」：今給黎哲郎・小泉尚嗣（滋賀県立大学）
 - ・火山活動活発化における地理空間情報の活用：栗栖悠貴
- ◇第 45 回国土地理院報告会 平成 28 年 6 月 8 日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・公共測量作業規程の準則の一部改正：島田信也

[測地部]

- ◇FIG Working Week 2016 (2016 年 FIG ワーキングウィーク) 平成 28 年 5 月 2 日～6 日 Horncastle Arena and Addington Events Center (ニュージーランド・クライストチャーチ)
 - ・Reconstruction of geodetic reference frame after the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake (平成 23 年東北地方太平洋沖地震後の測地基準系の再構築)：宮原伐折羅・豊福隆史・古屋智秋（測地観測センター）
 - ・Real-time GNSS positioning system REGARD for rapid earthquake moment estimates (地震規模即時推定のためのリアルタイム GNSS 測位システム REGARD)：宮原伐折羅・川元智司（地理地殻活動研究センター）・檜山洋平（測地観測センター）・佐藤雄大（測地観測センター）・古屋智秋（測地観測センター）・太田雄策（東北大学）・西村卓也（京都大学防災研究所）・等々力賢（東京大学）
- ◇Technical Seminar on Reference Frame in Practice—Reference Frames, Datum Unification and Kinematics—(実用的な基準座標系に関する技術セミナー—基準座標系, 測地基準系の統合及び変動—) 平成 28 年 5 月 1 日～2 日 Rydges Latimer (ニュージーランド・クライストチャーチ)
 - ・Case study of Japan : Reference Frames in Practice (日本の事例：実用的な基準座標系)：宮原伐折羅・松尾功二（地理地殻活動研究センター）
- ◇地球惑星科学連合 2016 年大会 平成 28 年 5 月 22 日～26 日 幕張メッセ（千葉県千葉市）
 - ・「地球規模の測地基準座標系 (GGRF)」推進のための国連ロードマップ：宮原伐折羅
 - ・だいち 2 号を用いた全国 SAR 干渉解析：三浦優司・山中雅之（地理地殻活動研究センター）・山田晋也（国土交通本省）・攪上泰亮・仲井博之・和田弘人（文部科学省）・森下遊（地理地殻活動研究センター）
 - ・全国 SAR 干渉解析による斜面変動の検出：山中雅之（地理地殻活動研究センター）・和田弘人（文部科学省）・仲井博之・三浦優司・中埜貴元（地理地殻活動研究センター）
 - ・アジア・オセアニア VLBI グループ (AOV) の活動について：川畑亮二・和田弘人（文部科学省）・石本正芳・若杉貴浩・福崎順洋
 - ・石岡測地観測局の最新状況：若杉貴浩・石本正芳・川畑亮二・和田弘人（文部科学省）・福崎順洋

- ◇第 45 回国土地理院報告会 平成 28 年 6 月 8 日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・石岡測地観測局が完成—石岡が世界の中の日本の位置を決めます—：宮原伐折羅
- ◇第 15 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 28 年 6 月 30 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター（茨城県鹿嶋市）
 - ・石岡 VLBI 観測施設の現状について：石本正芳・宮原伐折羅・川畑亮二・若杉貴浩・梅井迪子・豊田友夫・福崎順洋
- ◇防災と測量新技術講習会 平成 28 年 9 月 8 日 測量年金会館（東京都新宿区）
 - ・宇宙技術を利用した熊本地震の地殻変動の把握～だいち 2 号を用いた干渉 SAR 解析とその成果～：仲井博之
- ◇第 8 回土砂災害に関するシンポジウム 平成 28 年 9 月 16 日～17 日 福岡リーセントホテル（福岡県福岡市）
 - ・全国 SAR 干渉解析による斜面変動の検出事例：山中雅之（地理地殻活動研究センター）・中埜貴元（地理地殻活動研究センター）・和田弘人（文部科学省）・仲井博之
- ◇5th International VLBI Technology Workshop（第 5 回国際 VLBI 技術ワークショップ） 平成 28 年 10 月 12 日～14 日 ヘイスタック観測所（米国マサチューセッツ州ウェストフォード）
 - ・VGOS development for Ishioka 13-m antenna（石岡 VLBI 観測施設における VGOS 整備状況について）：川畑亮二・梅井迪子・豊田友夫・石本正芳・若杉貴浩・宮原伐折羅
- ◇日本測地学会第 126 回講演会 平成 28 年 10 月 19 日～21 日 奥州市文化会館（岩手県奥州市）
 - ・地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの取組：攪上泰亮・三浦優司・上芝晴香・本田昌樹・仲井博之・宮原伐折羅
 - ・だいち 2 号のデータを使用した SAR 干渉解析による日本全国地表変動監視：本田昌樹・三浦優司・上芝晴香・攪上泰亮・仲井博之・宮原伐折羅
 - ・だいち 2 号干渉 SAR によって検出された西之島の地表面変動：三浦優司・上芝晴香・攪上泰亮・本田昌樹・仲井博之・宮原伐折羅・藤原智（地理地殻活動研究センター）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）・小林知勝（地理地殻活動研究センター）・森下遊（地理地殻活動研究センター）
 - ・つくば VLBI アンテナの測地学への貢献について：川畑亮二・梅井迪子・豊田友夫・若杉貴浩・石本正芳・宮原伐折羅
 - ・石岡測地観測局の現状について：梅井迪子・宮原伐折羅・川畑亮二・石本正芳・若杉貴浩・豊田友夫・福崎順洋
- ◇第 140 回地球電磁気・地球惑星圏学会 平成 28 年 11 月 19 日～23 日 九州大学（福岡県福岡市）
 - ・「磁気図 2015.0 年値」の公表について：高橋伸也・菅原安宏・矢萩智裕・阿部聡（測地観測センター）
- ◇2016 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 28 年 12 月 26 日～28 日 山口大学吉田キャンパス（山口県山口市）
 - ・地球規模の測地基準座標系に関する国連総会決議：宮原伐折羅
 - ・つくば VLBI アンテナの測地学への功績について：川畑亮二・梅井迪子・豊田友夫・石本正芳・若杉貴浩・宮原伐折羅
- ◇平成 28 年度 CA 研究会「電磁気学的イメージングによる 2016 年熊本地震及び九州中部地震活動域の不均質構造解明」 平成 29 年 1 月 12 日 京都大学（京都府宇治市）
 - ・磁気図 2015.0 年値の公表：高橋伸也・菅原安宏・矢萩智裕・阿部聡（測地観測センター）
 - ・広帯域 MT 連続観測による短周期の電磁場観測に関する研究：菅原安宏・高橋伸也・矢萩智裕・上嶋

誠 (東京大学)・小山崇夫 (東京大学)

[地理空間情報部]

- ◇KIT 空間情報プロジェクト 2016 第1回空間情報セミナー 平成28年5月20日 金沢工業大学扇が丘キャンパス (石川県野々市市)
 - ・地理院地図で“ミセル”地理空間情報：菅原友恵
- ◇第45回国土地理院報告会 平成28年6月8日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・地理空間情報の活用推進のための国・地方公共団体等との連携に関する取組について：福島忍
- ◇空間情報シンポジウム 2016 平成28年7月14日 オーバルホール (大阪市北区)
 - ・国土地理院の"オープン"施策 ～地理院地図をより身近に～：出口智恵
- ◇空間情報シンポジウム 2016 平成28年7月21日 ウィンクあいち (名古屋市中村区)
 - ・国土地理院の"オープン"施策 ～地理院地図をより身近に～：出口智恵
- ◇日本地図学会 平成28年度定期大会 平成28年8月9日 就実大学・就実短期大学キャンパス (岡山県岡山市)
 - ・国土地理院のベクトルタイル提供実験について：永井博久・佐藤潤
- ◇FOSS4G 2016 NARA . KANSAI 平成28年10月30日 奈良女子大学 (奈良県奈良市)
 - ・FOSS4G と地理院地図：出口智恵
- ◇FOSS4G 2016 Tokyo 平成28年11月5日 東京大学駒場リサーチキャンパス (東京都目黒区)
 - ・FOSS4G と地理院地図：出口智恵
- ◇SATテクノロジー・ショーケース 2017 平成29年1月31日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
 - ・ベクトルタイルで拓く！新たな地理空間情報活用術：川村拓弥
- ◇地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議平成28年度新潟県分科会 平成29年2月7日 朱鷺メッセ (新潟市中央区)
 - ・地理院地図の概要とその利活用に関する取組：出口智恵

[基本図情報部]

- ◇日本写真測量学会平成28年度年次学術講演会 平成28年5月26～27日 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
 - ・WorldView-3 のステレオペア画像を用いた標定精度検証：早坂寿人
- ◇第45回国土地理院報告会 平成28年6月8日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・国土地理院による UAV の取組と最新動向：中村孝之
- ◇日本地図学会平成28年度定期大会 平成28年8月8日～10日 就実大学・就実短期大学キャンパス (岡山県岡山市)
 - ・「伊勢志摩サミット地図」について：笹嶋英季・野口真弓・本田義和・直井貴之
- ◇地理情報システム学会第25回学術研究発表大会 平成28年10月15～16日 立正大学品川キャンパス (東京都品川区)
 - ・国土広域情報の更新方法：芹澤由尚

[応用地理部]

- ◇第45回国土地理院報告会 平成28年6月8日 日経ホール (東京都千代田区)

- ・住民1人1人の災害リスクへの理解向上に向けた取組-重ねるハザードマップ-：山本洋一
- ◇日本地図学会平成28年度定期大会 平成28年8月8～10日 就実大学（岡山県岡山市）
 - ・国土交通省ハザードマップポータルサイトの紹介：武藤雅知・本嶋裕介・小島脩平・山本洋一・明野和彦
- ◇日本地理学会2016年秋季学術大会 平成28年9月30日～10月2日 東北大学川内キャンパス（宮城県仙台市）
 - ・自然災害リスクに関する地理空間情報の伝え方の工夫：栗栖悠貴・小島脩平・稲澤容代
- ◇平成28年度日本応用地理学会研究発表会 平成28年10月26～27日 日立システムズホール仙台（宮城県仙台市）
 - ・平成27年9月関東・東北豪雨における地理空間情報の活用：栗栖悠貴（企画部）
- ◇平成28年度国土交通省国土技術研究会 平成28年11月1～2日 国土交通省中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
 - ・「国土交通省ハザードマップポータルサイト」を通じた防災情報の提供：武藤雅知・本嶋裕介・小島脩平・山本洋一
- ◇日本地理学会2017年春季学術大会 平成29年3月28～30日 筑波大学（茨城県つくば市）
 - ・想定最大規模の降雨による浸水リスクを効果的に伝えるために：栗栖悠貴・小島脩平・稲澤容代
 - ・熊本地震における益城町周辺の地形と地表変状・建物被害：関口辰夫・研川英征・吉田一希
 - ・新潟県魚沼地域における詳細版雪崩地形分布図について：関口辰夫

[測地観測センター]

- ◇地球惑星科学連合2016年大会 平成28年5月22～26日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
 - ・GEONETによって検出された平成28年熊本地震による地殻変動：川元智司・檜山洋平・国土地理院 GEONET グループ
 - ・隣接周波数帯電波のGNSS観測への影響：辻宏道・畑中雄樹・佐藤雄大・古屋智秋・鈴木啓・村松弘規・犬飼孝明・三木原香乃・高松直史・中久喜智一（総務部）・藤原智（地理地殻活動研究センター）・今給黎哲郎（企画部）・飛田幹男（JAXA）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）
 - ・GNSS連続観測システム（GEONET）解析固定点座標算出手法の改良：鎌苅裕紀・山尾裕美・畑中雄樹
 - ・GEONETリアルタイム解析を用いた地震規模即時推定システム（REGARD）の改良：檜山洋平・川元智司・佐藤雄大・古屋智秋・太田雄策（東北大学）・西村卓也（京都大学）
- ◇第45回国土地理院報告会 平成28年6月8日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・電子基準点で国土を測るーさらに役立つ位置情報インフラを目指してー：檜山洋平
- ◇日本地震学会2016年度秋季大会 平成28年10月5～7日 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
 - ・GEONETリアルタイム解析システムREGARDによる平成28年熊本地震におけるリアルタイム断層推定：川元智司・檜山洋平・高松直史・太田雄策（東北大学）・西村卓也（京都大学）
- ◇日本測地学会第126回講演会 平成28年10月19～21日 奥州市文化会館（岩手県奥州市）
 - ・GEONET運用20年：課題と展望：辻宏道・畑中雄樹・檜山洋平・山口和典・古屋智秋・川元智司
 - ・GEONET新解析戦略の検討：高松直史・阿部聡・石川典彦・山口和典・鎌苅裕紀・川元智司・畑中雄樹
 - ・GEONETリアルタイム解析システムREGARDによる平成28年熊本地震におけるリアルタイム断層

推定：川元智司・檜山洋平・高松直史・太田雄策（東北大学）・西村卓也（京都大学）

- ・LTE（1.5GHz 帯）周波数電波によって発生する GNSS 観測への影響と対策：三木原香乃・鈴木啓・中久喜智一（総務部）・佐藤明日花・古屋智秋・辻宏道
- ・高精度衛星測位の適用範囲拡大のための技術開発：酒井和紀・山尾裕美・鎌苅裕紀・檜山洋平・佐藤雄大・古屋智秋・畑中雄樹・辻宏道

◇8th Multi-GNSS Asia (MGA) Conference 平成 28 年 11 月 14 日～16 日 Sofitel Philippine Plaza Manila（フィリピン・マニラ）

- ・Development of the Real-time GEONET Analysis System for Rapid Deformation Monitoring (REGARD)：酒井和紀・川元智司・檜山洋平・高松直史

[地理地殻活動研究センター]

◇FIG Working Week 2016(2016年国際測量者連盟ワーキングウィーク) 平成28年5月2日～6日 Horncastle Arena and Addington Events Centre（ニュージーランド国クライストチャーチ市）

- ・Development of a new gravitational geoid model for Japan（日本の新たな重力ジオイド・モデルの開発）：松尾功二・宮崎隆幸・黒石裕樹（中部地方測量部）
- ・Development of a precise positioning technique using multi-GNSS（マルチ GNSS による高精度測位技術の開発）：辻宏道（測地観測センター）・松尾功二・古屋智秋（測地観測センター）・山尾裕美（測地観測センター）・鎌苅裕紀（測地観測センター）・後藤清（測地部）

◇日本学術会議公開シンポジウム 熊本地震・緊急報告会 平成 28 年 5 月 2 日 日本学術会議講堂（東京都港区）

- ・活断層について：宇根寛

◇日本地球惑星科学連合 2016 年大会 平成 28 年 5 月 22 日～26 日 幕張メッセ（千葉市美浜区）

- ・250mDEM を用いたアジア太平洋地域の地形分類ポリゴンの作成：岩橋純子・神谷泉
- ・SfM/MVS 技術による湛水面標高モデルの生成と湛水量推定—洪水氾濫と河道閉塞を例に：中埜貴元
- ・4 方向からの ALOS-2 干渉 SAR による 3 次元変動場の推定～2015 年桜島火山活動の事例～：森下遊・小林知勝・矢来博司
- ・時間変化を含めた西南日本のブロック断層モデリング：小沢慎三郎
- ・水準測量の繰り返し観測結果から推定する、地殻上下変動の傾斜変化把握の試み：高野和友
- ・東北沖地震の余効変動と余震の時定数の関係：飛田幹男
- ・東北地方太平洋沖地震後の日本列島の地殻変動の変化とその解釈：水藤尚
- ・衛星重力計測に基づくアジア高山域の氷河質量収支の再推定：松尾功二・日置幸介（北海道大学）
- ・九州で発生する複数の長期的スロースリップイベント：矢来博司・宗包浩志
- ・ALOS-2 干渉 SAR データから得られた 2015 年ネパール（Gorkha）地震の地殻変動と震源断層モデル：小林知勝・森下遊・矢来博司
- ・数値気象モデルによる大気遅延誤差の低減処理の効果—2015 年桜島火山活動の InSAR 解析を例に—：小林知勝
- ・過去の稠密重力データの日本重力基準網 2013 への整合手法の検討：宮崎隆
- ・GNSS リアルタイム解析による地殻変動の即時把握：GEONET リアルタイム解析システム (REGARD) の開発：川元智司
- ・2014 年長野県北部の地震の地殻変動と断層モデル：矢来博司・小林知勝・森下遊・飛田幹男・山田晋

也

- ・空中写真判読による平成 28 年（2016 年）熊本地震で発生した地表の亀裂分布：中埜貴元・宇根寛・関口辰夫（応用地理部）・坂井尚登（応用地理部）・吉田一希（応用地理部）
- ・SAR 干渉画像による平成 28 年熊本地震で生じた小地表断層群の抽出：藤原智・矢来博司・小林知勝・森下遊・中埜貴元・宮原伐折羅（測地部）・仲井博之（測地部）・三浦優司（測地部）・上芝晴香（測地部）・攪上泰亮（測地部）・宇根寛
- ・平成 28 年（2016 年）熊本地震に伴う地殻変動（Crustal deformation of the 2016 Kumamoto Earthquake）：矢来博司・小林知勝・森下遊・藤原智・宗包浩志・檜山洋平（測地観測センター）・川元智司（測地観測センター）・宮原伐折羅（測地部）・SAR 解析グループ・電子基準点グループ
- ◇日本文化財科学会第 33 回大会 平成 28 年 6 月 4 日～5 日 奈良大学（奈良県奈良市）
 - ・GIS 解析による新潟県内の地震跡遺跡の空間分布特性：中埜貴元・酒井英男（富山大学）*・加藤学（新潟県埋蔵文化財調査事業団）・泉吉紀（富山大学）
- ◇第 45 回国土地理院報告会 平成 28 年 6 月 8 日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・国土地理院の地理教育の支援に向けた取組：宇根寛
 - ・液状化リスク評価のための地形・地盤分類情報の効率的整備手法の開発：中埜貴元
- ◇熊本地震国際合同調査速報シンポジウム 平成 28 年 6 月 25 日 浦安市文化会館（千葉県浦安市）
 - ・平成 28 年（2016 年）熊本地震に伴う地殻変動：矢来博司
- ◇International Society for Photogrammetry and Remote Sensing（国際写真測量・リモートセンシング学会）平成 28 年 7 月 12 日～19 日 プラハ会議場（チェコ共和国プラハ）
 - ・PRECURSORY SLOPE DEFORMATION AROUND LANDSLIDE AREA DETECTED BY INSAR THROUGHOUT JAPAN（干渉 SAR で検出した日本全土の前兆的地すべり性斜面変動）：中埜貴元*・和田弘人（測地部）・山中雅之（測地部）・神谷泉・中島秀敏
- ◇防災学術連携体第 1 回防災学術連携シンポジウム 平成 28 年 8 月 28 日 東京大学（東京都文京区）
 - ・活断層調査を支える新技術：宇根寛
- ◇CEOS SAR CALVAL Workshop 2016 平成 28 年 9 月 7 日～9 日 東京電機大学（東京都足立区）
 - ・Effect of atmospheric-related noise reduction using numerical weather model - Application to the 2015 Sakurajima dike intrusion event -（数値気象モデルによる大気遅延誤差の低減処理の効果 -2015 年桜島火山活動の InSAR 解析を例に-）：小林知勝
- ◇第 51 回地盤工学研究発表会 平成 28 年 9 月 13 日 岡山大学（岡山県岡山市）
 - ・土地の成り立ちを理解する地盤情報としての地形分類：宇根寛
- ◇第 8 回土砂災害に関するシンポジウム 平成 28 年 9 月 16 日～17 日 福岡リーセントホテル（福岡県福岡市）
 - ・全国 SAR 干渉解析による斜面変動の検出：山中雅之・中埜貴元・和田弘人（文部科学省）・仲井博之（測地部）
- ◇京都大学防災研究所 第 53 回自然災害科学総合シンポジウム 平成 28 年 9 月 22 日～23 日 静岡県防災センター（静岡県静岡市）
 - ・災害対応を支える地理空間情報の新技術：宇根寛
- ◇南海トラフ巨大地震の予測に向けた観測と研究 平成 28 年 9 月 30 日 東京大学武田先端知ビル（東京都文京区）
 - ・南海トラフ周辺における GEONET のモニタリング能力：矢来博司・水藤尚・川元智司（測地観測セ

ンター)・檜山洋平(測地観測センター)

◇日本地理学会 2016 年秋季学術大会 平成 28 年 9 月 30 日～10 月 1 日 東北大学(宮城県仙台市)

- ・宅地盛土形状把握のための旧地形データの効率的作成手法の検討:中埜貴元
- ・地理教育の支援に向けた国土地理院の取組み:宇根寛

◇日本地震学会 2016 年度秋季大会 平成 28 年 10 月 5 日～7 日 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)

- ・2013 年以降の南海トラフ沿いの非定常地殻変動:小沢慎三郎
- ・ALOS-2 による 2016 年熊本地震に伴う非造構性地表変位の詳細 -主に阿蘇谷での変位-:藤原智・森下遊・矢来博司・小林知勝・中埜貴元
- ・ALOS-2 による 2016 年熊本地震に伴う様々な地表変位の詳細な計測:森下遊・藤原智・矢来博司・小林知勝・中埜貴元
- ・SAR 解析で捉えられた 2016 年熊本地震の前震の断層滑りの特徴:小林知勝
- ・SAR ピクセルオフセット解析で見る 2016 年熊本地震に伴う大規模変位:小林知勝
- ・2011 年東北地方太平洋沖地震の余効変動モデル:水藤尚
- ・2016 年熊本地震の余効変動:矢来博司*・小林知勝・川元智司(測地観測センター)・宗包浩志
- ・ALOS-2 の SAR データで捉えられた 2016 年熊本地震の地殻変動:矢来博司・小林知勝・森下遊・藤原智・中埜貴元

◇第 20 回国際レーザー測距会合 平成 28 年 10 月 9 日～14 日 ドイツ地球科学研究センター(ドイツ・ポツダム市)

- ・Interannual geocenter motion with relation to El Nino Southern Oscillation (エルニーニョ南方振動に関連する地球重心の年々変動):松尾功二・大坪俊通(一橋大学)

◇日本火山学会 2016 年度秋季大会 平成 28 年 10 月 13 日～15 日 富士吉田市民会館・ふじさんホール(山梨県富士吉田市)

- ・三宅島 2000 年噴火前後の地殻変動力源の再検討:宗包浩志
- ・ALOS-2 の干渉 SAR によって検出された西之島の地表変位:藤原智・三浦優司(測地部)・上芝晴香(測地部)・攪上泰亮(測地部)・本田昌樹(測地部)・仲井博之(測地部)・宮原伐折羅(測地部)・矢来博司・小林知勝・森下遊
- ・干渉 SAR を用いた地殻変動観測における大気遅延誤差の低減処理の重要性について ～ 2015 年桜島マグマ貫入イベントの解析を例に～:小林知勝

◇日本測地学会第 126 回講演会 平成 28 年 10 月 19 日～21 日 奥州市文化会館(岩手県奥州市)

- ・ALOS-2 の SAR による 2016 年熊本地震に伴う非造構性地表変位の検出:藤原智・森下遊・小林知勝・中埜貴元・矢来博司・三浦優司(測地部)・上芝晴香(測地部)・攪上泰亮(測地部)
- ・PPP キネマティック法による電子基準点座標モニタリングシステムの試作:宗包浩志
- ・2016 年熊本地震 SAR 干渉画像に見られる複雑な位相変化のアンラッピング:森下遊
- ・GEONET データを用いた地震後変動モデルの推定:宮崎隆幸
- ・日本の精密重力ジオイド・モデルの開発 (その 2):松尾功二・宮崎隆幸・宮原伐折羅(測地部)・黒石裕樹(東京大学)
- ・東北地方太平洋沖地震後の日本列島の地殻変動の特徴とその変化:水藤尚
- ・SAR 解析で捉えられた 2016 年熊本地震の前震の断層滑りの特徴:小林知勝
- ・2016 年熊本地震の余効変動:矢来博司・小林知勝・川元智司・宗包浩志

◇関西 G 空間フォーラム 平成 28 年 10 月 24 日 アジア太平洋トレードセンター(大阪市)

・災害対応を支える地理空間情報の新技術：宇根寛

◇日本活断層学会 2016 年度秋季学術大会 平成 28 年 10 月 29 日～30 日 法政大学市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）

・ SAR 干渉解析による平成 28 年（2016 年）熊本地震に伴う熊本市内の地表変位と地下構造との関係：中埜貴元・森下遊・小林知勝・藤原智・宇根寛

・平成 28 年熊本地震に伴い阿蘇外輪山北西部に現れた多数の地表変位について：宇根寛・中埜貴元・藤原智・小林知勝・森下遊・佐藤浩（日本大学）・八木浩司（山形大学）

◇平成 28 年度国土技術研究会 平成 28 年 11 月 1 日～2 日 国土交通省（東京都千代田区）

・液状化ハザードマップ作成のための地形分類情報の効率的整備手法の開発：中埜貴元

◇日本写真測量学会平成 28 年度秋季学術講演会 平成 28 年 11 月 10 日～11 日 都久志会館（福岡県福岡市）

・Pi-SAR-L2 データによる高土壌水分地域の抽出に関する検討：中埜貴元

◇第 11 回 UJNR（天然資源の開発利用に関する日米会議）地震調査専門部会 平成 28 年 11 月 16 日～18 日 シルバラードリゾート（アメリカ・カリフォルニア州ナパ）

・ Earthquake rupture properties of the 2016 Kumamoto Earthquake foreshocks (Mj 6.5 and Mj 6.4) revealed by conventional and multiple-aperture InSAR（InSAR 及び MAI 解析により明らかにされた 2016 年熊本地震の前震の断層破壊の特徴）：小林知勝

・ Detailed ground surface displacement and fault ruptures of the 2016 Kumamoto Earthquake revealed by SAR and GNSS data（SAR および GNSS データで捉えた 2016 年熊本地震の地表変位と断層破壊の詳細）：小林知勝・矢来博司・森下遊・藤原智・中埜貴元・川元智司（測地観測センター）

・ Small displacement surface linear ruptures of the 2016 Kumamoto earthquake sequence detected by ALOS-2 SAR interferometry（だいち 2 号干渉 SAR による熊本地震で生じた小変位の地表断層群の抽出）：藤原智・矢来博司・小林知勝・森下遊・中埜貴元・宮原伐折羅（測地部）・仲井博之（測地部）・三浦優司（測地部）・上芝晴香（測地部）・攪上泰亮（測地部）・宇根寛

・ The GEONET real-time analysis system for rapid finite fault modeling（迅速な有限断層推定のための GEONET リアルタイム解析システム）：川元智司（測地観測センター）・檜山洋平（測地観測センター）・高松直史（測地観測センター）・矢来博司

◇防災科学技術研究所 土砂災害予測に関する研究集会 ―熊本地震とその周辺― 平成 28 年 12 月 8 日～9 日 防災科学技術研究所和達記念ホール（茨城県つくば市）

・干渉 SAR が捉えた小さな地表変位 ―熊本地震を例に―：中埜貴元・藤原智・森下遊・小林知勝

◇AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合大会）平成 28 年 12 月 12 日～16 日 モスコニーコンベンションセンター（アメリカ サンフランシスコ市）

・ A framework for global terrain classification using 250-m DEMs to predict geohazards（250mDEM を用いた地質災害予測のための全球の地形分類のフレームワーク）：岩橋純子・松岡昌志（東京工業大学）・Alan Yong（USGS）

・ How to make old and dense gravity data consistent with the latest gravity data? --Example in Japan--（どのように過去の稠密重力データを最新のデータと整合させるか？--日本における例--）：宮崎隆幸

・ Detailed ground surface displacement and fault ruptures of the 2016 Kumamoto Earthquake revealed by SAR and GNSS data（SAR および GNSS データで捉えた 2016 年熊本地震の地表変位と断層破壊の詳細）：小林知勝・矢来博司・森下遊・川元智司（測地観測センター）・藤原智・中埜貴元

- ◇SAT テクノロジー・ショーケース 2017 平成 29 年 1 月 31 日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
 - ・光格子時計の測地学における活用の展望：宗包浩志
- ◇地球観測衛星 30 周年記念シンポジウム 平成 29 年 2 月 13 日 JAXA (茨城県つくば市)
 - ・国土地理院の災害対応を支える地球観測の新技术 ～ALOS-2 を中心として：宇根寛
- ◇平成 28 年度防災研究所研究発表講演会 平成 29 年 2 月 21 日～22 日 京都大学防災研究所 (京都府宇治市)
 - ・昭和期の斜面調査資料を用いた検土杖深等の分析：岩橋純子・松四雄騎 (京都大学)
- ◇熊本地震からの益城町の市街地復興に向けた安全対策のあり方等に関する中間報告シンポジウム 平成 29 年 2 月 26 日 益城町文化会館 (熊本県益城町)
 - ・益城町市街地の活断層について：宇根寛
- ◇富山大学セミナー 平成 29 年 2 月 27 日 富山大学 (富山県富山市)
 - ・レーダー衛星による火山の地殻変動：小林知勝
- ◇立山カルデラ砂防博物館講座 平成 29 年 3 月 4 日 立山カルデラ砂防博物館 (富山県中新川郡立山町)
 - ・宇宙からの火山監視 ～レーダー衛星が捉える火山の地殻変動～：小林知勝
- ◇東京大学地震研究所共同利用研究集会 平成 29 年 3 月 13 日～14 日 東京大学地震研究所 (東京都文京区)
 - ・2014 年長野県北部の地震に伴う地表変動に関する SAR 干渉画像の解釈：宇根寛
 - ・平成 28 年熊本地震の地表変位：ALOS-2 の SAR で見つかった地表断層群と阿蘇谷での大きな変動：藤原智
 - ・平成 28 年熊本地震の地表変位：阿蘇外輪山北西部に現れた多数の地表変位の現地検証とその解釈：宇根寛
- ◇2017 年電子情報通信学会総合大会 平成 29 年 3 月 22 日～25 日 名城大学 天白キャンパス (愛知県名古屋市)
 - ・人工衛星の L バンド SAR による地震・火山活動に伴う地殻変動の監視：藤原智
- ◇日本地理学会 2017 年春季学術大会 平成 29 年 3 月 28 日～29 日 筑波大学 (茨城県つくば市)
 - ・宅地盛土形状把握のための旧地形データの効率的作成手法の検討 (その 2) —仙台地区の事例—：中埜貴元・川又基人 (総合研究大学院大学)
 - ・自治体が整備する液状化ハザードマップの現状と課題：宇根寛・中埜貴元・田中海晴 (東北大学)・安藤竜介 (大阪大学大学院)・米川直志 (千葉科学大学)